

世界史

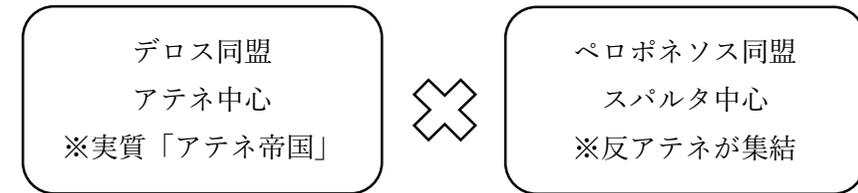
	古代ギリシア4	学習日 月 日	名前:
--	---------	---------	-----

ポリス社会の衰退

ペロポネソス半島のポリスは(1))同盟を結成、スパルタ中心

これに、反アテネのポリスが集結する

BC431~404 ペロポネソス戦争



海上ではアテネが優勢、アテネは城壁の中にこもり徹底抗戦

→ ペストの流行、BC429(2))死去

→ 煽動政治家(= デマゴグ)により政治が混乱、(3))となる

BC405年 アイゴスポモタイの海戦 → アテネ敗北、食糧輸入路の断絶

BC404年 アテネの降伏

【 ペロポネソス戦争の影響 】

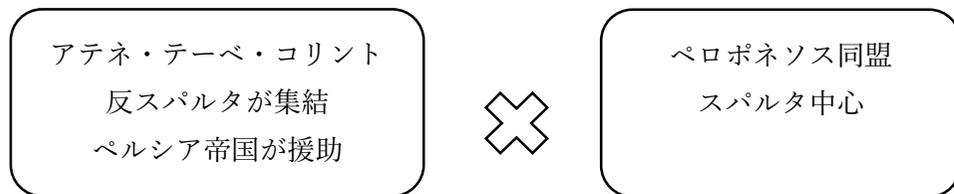
長期にわたる戦争 → 農地の荒廃、市民の死者多数

市民の重装歩兵がポリスを自衛する原則が失われる → 傭兵制の導入

傭兵はポリスへの帰属意識がない、連帯感がない

< ポリス社会の崩壊 >

BC395~386 コリント戦争



テーベの将軍(4))の活躍(斜線陣戦法)

But アテネの復興を恐れたペルシア帝国の提案で(5))締結

※ ペルシア帝国のギリシアへの干渉が強化される、テーベが一時的に覇権

しかし、テーベの覇権も長続きしない

マケドニアの台頭 (アレクサンドロス帝国)

(6))... マケドニア王(マケドニア人はドーリア系ギリシア人、都:ペラ)

軍制改革を行う ... テーベの **エパミノンドス** の下で斜線陣戦法を学ぶ

BC338年 (7))... アテネ・テーベ連合軍を破り、全ポリスを服属させる

※ この戦いが **アレクサンドロス** の初陣

→ (8))を結成させ、ギリシア支配に利用

※ スパルタは不参加

(9) **アレクサンドロス大王**)

... **フィリッポス2世** の子、**アリストテレス** を家庭教師とする、愛馬ブケファラス

BC334年 東方遠征を開始

... ギリシア軍を率い、ペルシア帝国を討つために遠征

【 東方遠征について 】

< まず小アジアへ侵入 >

BC301年 グラニコス川の戦い

BC333年 (10))... ペルシア帝国の **ダレイオス3世** に勝利

< 次にエジプトへ侵入 >

→ エジプト平定、ナイル川河口にアレクサンドリアを建設

< そして、ペルシアへ >

BC331年 (11))... **ダレイオス3世** に再び勝利

BC330年 **ダレイオス3世** 暗殺される、ペルシア帝国滅亡、ペルセポリスは焼き討ちされる

< さらに中央アジアへ >

BC330~327年 中央アジアのソグディアナ・バクトリアに進出

BC327~325年 さらにインダス川流域に進出

※ ここで部下に止められ帰還、スサに帰還後バビロンへ向かう

※ 部下の一部は海路帰国、部下の **ネアルコス** は海路帰国しユーフラテス川で大王と再会、『周航記』は散逸
意義:オリエント世界とギリシア世界を統一 = 世界帝国の成立

→ 各地にギリシア人の植民都市(12))を建設(約70箇所)

帝国内で民族融合政策 ... BC324年 スサで集団結婚の実施

BC323年 バビロンで死去